

日本鉄鋼協会記事

第49回通常総会 日時：4月4日 13:00 開会。場所：東京大学工学部2号館大講堂

議案 I. 昭和38年度事業報告、収支決算ならびに財産目録の件。II. 昭和39年度事業計画ならびに収支予算の件
III. 定款中一部変更の件。IV. 理事、監事ならびに評議員選挙の件。

(本通常総会についての詳細は会誌第5号p. 840 以下に掲載)

39年度第1回評議員会 日時：3月12日 (書面代行)

議題 名誉会員推挙の件—田中清治(前会長、東京大学名誉教授)、伊藤隆吉(前会長、前東海製鉄株式会社社長)、
沢村 宏(前会長、京都大学名誉教授)3氏を名誉会員に推挙することを議決した。

39年度第1回理事会 日時：3月18日 17:00 開会。場所：協会会議室。出席者：三島会長ほか 25名。

報告事項 I. 第1回編集委員会に関する件。II. 第1回企画委員会に関する件。III. 第1回研究委員会に関する
件。IV. 第1回評議員会に関する件。V. 鉄鋼基礎共同研究に関する件。VI. 東洋レーヨン研究助成費に関する件。
VII. 本多記念賞に関する件。VIII. 海外技術協力に関する件。IX. クリーブ試験研究組合に関する件。X. 昭和39年度
上半期特別調査研究費に関する件。

協議事項 I. 春季講演大会に関する件。II. 支部長会議開催に関する件。III. 50周年記念出版の件。IV. 国内炭
コークス化試験実施に関する件。V. 昭和39年度朝日学術奨励金候補者推薦の件。VI. 事務局職員退職および新規採
用の件。VII. 2月中入退会その他会員異動の件。VIII. 2月中収支決算の件。

臨時理事会 日時：4月4日 13:40 開会。場所：東京大学工学部第2号館会議室。

第49回通常総会において役員選挙終了後開会、留任理事および新任理事一同出席。会長、副会長および専務理事
を互選し次の通り決定した。

会 長 湯川正夫

副 会 長 作井誠太、芹沢正雄

専務理事 田畑新太郎

第2回理事会 日時：4月21日 17:00 開会。場所：帝国ホテル。出席者：湯川会長ほか 32名。

報告事項 I. 通常総会および春季講演大会に関する件。II. 支部長会議に関する件。III. 鉄鋼、金属両会連絡会
に関する件。IV. 第2回編集委員会に関する件。V. 第2回企画委員会に関する件。VI. 第2回研究委員会に関する
件。VII. 東海支部長交代に関する件。VIII. 東北支部役員新任に関する件。IX. ラテライト処理に伴う鋼材のニッケ
ル、クロムに関する工業的研究の終了について。X. 大河内賞受賞者決定について。XI. 鉄鋼基礎共同研究会に関
する件。XII. クリーブ研究組合に関する件。

協議事項 I. 事務局組織に関する件。II. 理事の職務分掌に関する件。III. 常務委員委嘱に関する件。IV. 昭和
39年度上半期特別調査研究費に関する件。V. 海外鉄鋼事情調査委託(訪英視察団員)に関する件。VI. 第4回日本
塑性加工学会会田プレス技術賞受賞候補者推薦に関する件。VII. 第3回X線応力測定に関するシンポジウム協賛の件
VIII. 第7回高温強度シンポジウム協賛の件。IX. 第11回腐食防食討論会共催の件。X. 昭和39年3月中入退会その他
会員異動の件。XI. 昭和39年3月中収支決算の件。

会議終了後訪英鉄鋼視察団湯川団長一行19名(湯川団長夫人、芹沢副団長夫人を含む)を招待して壮行会を開きそ
の前途を祝福した。この会には特に英国大使館より科学参事官 Dr. MANDERS 夫妻も出席された。

39年度第1回企画委員会 日時：3月10日 17:00 開会。場所：協会会議室。出席者：伊木副会長ほか14名。

報告事項 I. 名誉会員推挙に関する件。II. 国内炭コークス化試験に関する件。III. 鉄鋼基礎共同研究打合せに
関する件。IV. 東洋レーヨン科学技術賞、研究助成金受贈者決定の件。V. 本多記念賞受賞者決定の件。VI. クリー
ブ試験研究組合に関する件。

協議事項 I. 海外技術協力に関する件。II. 39年度上半期特別調査研究費について。III. 朝日学術奨励金候補推
薦の件。

第2回企画委員会 日時：4月17日 17:00 開会。場所：協会々議室。出席者：伊木委員長ほか 10名

報告事項 I. 資料委員会に関する件。II. 大河内各賞受賞者決定について。

協議事項 I. 協会事務局機構改正について。II. 新理事、常務委員の職務分掌について。III. 昭和39年上半期特
別調査研究費について。IV. 第4回日本塑性加工学会会田プレス技術賞候補者推薦について。V. 第3回X線応力測
定に関するシンポジウム協賛について。VI. 第11回腐食防食討論会共催について。

39年度第1回研究委員会 日時：3月16日 16:00 開会。場所：協会会議室。出席者：村田理事ほか 12名。

議題 I. 鉄鋼基礎共同研究について。II. 鉄鋼設備共同研究について。III. 東大生研 1t 高炉試験の運営につい
て。IV. 国内一般炭活用の共同研究について。

第2回研究委員会 日時：4月17日 11:30 開会。場所：協会々議室。出席者：村田委員長ほか 8名。

報告事項 I. 鉄鋼基礎共同研究会について。II. 鋼構造協会設立の経過について。

協議事項 I. 東大生研試験高炉運営委員会(仮称)の構成について. II. 工業技術院よりの JIS 原案作成委託について.

39 年度第 1 回編集委員会 日時: 3月11日 17:00 開会. 場所: 協会会議室. 出席者: 佐藤理事ほか 19 名.

報告事項 I. 会誌第 2 号 (2月号) の完成について. II. 会誌第 3 号 (3月号—講演論文集 I) および第 4 号 (4月号—講演論文集 II) の完成予定について.

協議事項 I. 寄稿論文の審査. II. 会誌第 6 号 (6月号) 掲載論文の選定. III. 会誌臨時増刊号 (第 7 号—共同研究会鋼管分科会報告) 発行について. IV. 討論会講演一部変更について. V. 秋季講演大会講演論文原稿締切日について. VI. Overseas 表紙に広告掲載について.

第 2 回編集委員会 日時: 4月15日 17:00 開会. 場所: 協会々議室. 出席者: 佐藤委員長ほか 18 名.

報告事項 I. 会誌第 5 号 (5月号) 完成予定について.

協議事項 I. 寄稿論文の審査. II. 会誌第 8 号 (7月号) 掲載論文選定について. III. 臨時増刊号 (第 50 年第 9 号—製鋼部会報告書) の発行について. IV. 抄録について. V. Overseas の表紙について.

訪英鉄鋼視察団出発

本会では、昨年春英国鉄鋼協会より Cartwright 団長以下 15 名の団員より成る鉄鋼視察団の来日を迎えたが、このたび同協会の招請により本会より訪英鉄鋼視察団を派遣することとなり、下記視察団一行は 4月25日日航機にて羽田より英国に向つて出発した。一行は英国の主要製鉄会社、研究所等を視察する予定である。

団 長	湯 川 正 夫	八幡製鉄副社長
副団長	芹 沢 正 雄	富士製鉄取締役技術開発部長
団 員	浅 田 幸 吉	神戸製鋼神戸工場副工場長
	荒 木 透	金属材料技術研究所製造冶金研究部長
	井 上 敏 郎	八幡製鉄八幡製鉄所製鋼部長
	梅 根 英 二	富士製鉄技術開発部調整課長
	小野寺 真 作	日本製鋼室蘭製作所研究課長
	奥 村 虎 雄	日本鉄鋼連盟常務理事調査局長
	木 下 亨	通産省前製鉄課長
	田 畑 新太郎	日本鉄鋼協会専務理事
	高 椋 正 雄	住友金属工業和歌山製鉄所副所長
	深 堀 佐 市	日本鋼管鶴見製鉄所副所長
	丸 克 己	八幡製鉄市場部副長
	三 井 太 信	八幡製鉄技術開発部副長
	吉 崎 鴻 造	東洋鋼板常務取締役技術部長
	吉 田 浩	川崎製鉄取締役千葉製鉄所副工場長
	吉 谷 豊	富士製鉄技術開発部調査役

東洋レーヨン研究助成金決定

本会よりの推薦にかかる下記研究に対し、日東洋レーヨン研究助成金 500 万円が贈られた。

工業用純鉄に関する研究	代表研究者	早稲田大学教授	草 川 隆 次
	協同研究者	〃	長谷川 正義
	〃	〃	中 井 弘
	〃	〃 助教授	中 山 忠 行
	〃	〃	加 藤 栄 一

大河内賞受賞決定

本会よりの推薦に係る下記 3 件はいづれも授賞されることに決定した。

大河内記念賞	純酸素転炉の未燃焼ガス回収技術の開発	{湯 川 正 夫 (八幡製鉄副社長)
		{岡 庭 慶 次 (横山工業常務取締役)
大河内記念技術賞	クロム酸処理鋼	{吉 崎 鴻 造 (東洋鋼板常務取締役)
		{北 村 陽 一 (東洋製缶東洋鋼板総合 究研所副所長)

大河内記念生産賞 純酸素転炉の計算制御 (コンピューター・コントロール)

日本鋼管株式会社

評議員死去 本会評議員元理事浅田讓氏 (富士製鉄株式会社欧州事務所長) は、3月19日任地西独デュッセルドルフにおいて心筋硬塞のため急死されました。謹んで哀悼の意を表します。

本会評議員元理事、監事横山均次氏 (東京工業大学名誉教授、工学院大学教授) は 3月29日急病にて死去されました。謹んで哀悼の意を表します。

支部記事

東海支部

支部長交代 2月29日内川悟支部長の任期満了に伴い、理事互選の結果次の通り決定し、支部総会の承認を得た。

支部長 関口春次郎(名古屋大学教授)

関西支部

2月例会 2月28日和歌山市湊住友金属工業和歌山製鉄所において開催した。

1. 講演 最近における鋼管製造技術の動向について

住友金属工業和歌山製鉄所鋼管技術部長 薦田巖男氏

2. 工場見学 和歌山製鉄所

中国四国支部

支部講演大会 日本金属学会中国四国支部と共催で、2月24日広島大学理学部講義室において開催。次の通り講演が行われた。

- 1. 急冷アルミニウム中の二次欠陥の焼鈍による成長と消滅 広島大学理学部 ○下村義治・吉田 鐘
- 2. 急冷アルミニウム中の二次欠陥の核形成機構 広島大学理学部 ○桐谷道雄・下村義治・吉田 鐘
- 3. アルミニウムの陽極処理について 東洋工業 市原睦夫・○上林義隆
- 4. 粉末溶射による合金皮膜の特性について 三菱造船研究部 宇部善満・森原豊多・○重村貞人・楨村博俊
- 5. ダクタイル鑄鉄の焼入性に関する一考察 住友機械工業 ○河上 幹
- 6. ダクタイル鑄鉄の焼準後の硬さにおよぼす Cu 量、熱処理における空冷速度および鑄物肉厚の影響 東洋工業 田中利明・小林 稔・○好中範和・鋤田耕一
- 7. Ni-Cr 硬質鑄鉄について 宇部興産中央研究所 木戸行男・○小倉典康・山田 肇
- 8. 鋼鑄物の寸法精度の一例について 新三菱重工業三原製作所 ○田代達朗
- 9. 高マンガン、アルミニウム青銅の組織と機械的性質におよぼす添加元素の影響 尼崎製鉄製鋼所 中野市次・○坂井 巧
- 10. グラニューライトガス滲炭法について 三菱造船広島造船所 ○松岡秀郎・又木一正
- 11. 熱膨脹の一測定法 広島大学理学部 ○岩田允夫・岡本哲彦・辰本英二
- 12. 細物タップ用特殊工具鋼の熱処理特性について 日立金属工業安来工場 田中和夫・○谷井 充
- 13. SUS-27 冷延鋼板の成形性に関する調査 日新製鋼周南地区研究所 藤岡外喜夫・岡本光晴
- 14. 冷間すえ込みボルトの研究(第2報) 東洋工業 ○奥 義和・松野 亮・日井克巳
- 15. 非金属介在物の電解抽出について 日新製鋼呉工場 角谷卓爾・松倉 隆・○川西董泰
- 16. アルミキルド鋼スラブの煉瓦疵について 日新製鋼呉工場 角谷卓爾・松倉 隆・○大浜照久
- 17. 自動溶接における化学冶金反応の基礎的考察 日立製作所笠戸工場 ○一海俊景
- 18. 表面粗度ピークカウンターの試作 東洋鋼鋸下松工場 肥後実男・○四浦順一郎
- 19. 軟鋼板のプレス加工時の肌荒れについて 東洋鋼鋸下松工場 ○森下 智・平板 裕更
- 20. 連続式線材圧延機による軟鋼線材のスケールおよび機械的性質におよぼす捲取温度の影響 八幡製鉄光製鉄所 岡本一生・江口直記・○富永治朗
- 21. ブリキ表面電解過電圧とその耐食性 東洋鋼鋸下松工場 ○宮地昭夫
- 22. 回転ドラム型フライングシャワーの切断長さ精度について 東洋鋼鋸下松工場 岩本 廉・喜多隆志・○杉山達雄

渡辺記念講演会 2月24日広島大学理学部講義室において開催した。

圧延工学と工業の問題

東京大学生産技術研究所教授 鈴木 弘氏

九州支部

渡辺記念講演会 3月7日八幡製鉄所技術研究所講演室において開催した。

1. 映画 「現代をつくる」八幡メタルフォーム提供

2. 講演 鉄鋇石選鋇技術の最近の進歩

八幡製鉄(株)八幡製鉄所囑託 松塚 清 人氏

新入会会員氏名

(昭和39年1月1日~1月31日)

維持会員		江 藤 喜 元	〃	〃
(株)船場製鋼所	1口	土 本 靖	〃	〃
矢橋工業(株)	1口	西 村 和 夫	〃	〃
正会員		宮 内 新 一	〃	〃
石 崎 寿 夫	八幡製鉄(株)光製鉄所	伊 藤 雄	〃	戸畑製造所
坂 田 周 臣	〃 八幡製鉄所	西 嶋 誠	〃	〃
石 田 存	〃 〃	深 川 弥二郎	〃	〃

山 口	一 成	〃 〃	永 野	嘉 彦	日 本
齐 藤	力 税	富 士 製 鉄 (株) 室 蘭 製 鉄 所	平 坂	寿 宏	鋼 管 (株) 水 江 製 鉄 所
坂 本	実 夷	〃 〃	藤 板	弘 一	同 光 製 鋼 (株)
長 崎	昌 直	〃 〃	三 宅	修 功	む つ 製 鉄 (株)
中 村	人 一	住 友 金 属 工 業 (株) 製 鋼 所	三 浦	正 尚	中 部 鋼 鉄 (株)
中 西	弘 一	〃 〃	三 鍋	野 尚	日 本 高 周 波 鋼 業 (株)
河 上	稔 弘	〃 和 歌 山 製 鉄 所	三 河	山 善	朝 日 製 鉄 (株)
関 根	親 光	川 崎 製 鉄 (株) 千 葉 研 究 部	西 野	均 均	東 京 工 業 大 学
三 馬	利 治	〃 〃	朱 昌	昭 一	名 古 屋 大 学 工 学 部
大 久 保	清 司	〃 技 術 開 発 部	福 岡	昶 昶	大 阪 大 学 産 業 科 学 研 究 所
瓦 浦	賢 昌	(株) 神 戸 製 鋼 所	栗 賀	利 之	外 国 会 員
北 土	明 夫	〃 〃	石 井	健 夫	日 新 産 業 (株)
利 根	圭 一	〃 〃	岩 本	繁 史	学 生 会 員
小 野	善 菊	(株) 神 戸 製 鋼 所	小 西	藤 英	愛 媛 大 学 工 学 部 冶 金 学 科
松 藤	正 和	(株) 日 本 製 鋼 所 室 蘭 製 作 所	佐 木	嘉 晃	〃 〃
寺 井	英 一	東 洋 鋼 鉄 (株) 下 松 工 場	々 藤	修 道	〃 〃
小 浅	敏 彦	大 同 製 鋼 (株) 中 央 研 究 所	島 田	男 崇	〃 〃
会 本	俊 操	〃 〃	高 谷	雄 孝	〃 〃
吉 川	夫 志	〃 知 多 工 場	中 二	幹 芳	〃 〃
古 尾	春 彦	関 東 特 殊 製 鋼 (株)	丸 山	井 辺	〃 〃
尾 場	道 真	〃 〃	米 渡	瀨 宮	〃 〃
鍋 丁	真 嵩	日 本 金 属 工 業 (株) 川 崎 工 場	和 若	村 宏	〃 〃
柳 倉	正 宣	〃 相 模 原 工 場	中 三	浦 敏	〃 〃
安 中	敏 晃	日 新 製 鋼 (株) 周 南 工 場	深 早	田 信	〃 〃
石 川	延 弘	〃 尼 崎 工 場	桐 小	田 文	〃 〃
池 田	雄 一	金 属 材 料 技 術 研 究 所	山 本	木 善	〃 〃
增 田	治 明	〃 〃	赤 坂	谷 政	〃 〃
松 本	好 弘	日 本 特 殊 鋼 (株)	山 本	山 口	大 阪 大 学 工 学 部
大 久 保	博 齐	〃 〃	横 樋	文 文	关 西 大 学 工 学 部
小 野	一 郎	日 本 鋼 管 (株) 川 崎 製 鉄 所			关 西 鉄 鋼 短 期 大 学
齐 藤	一 郎	(株) 日 立 製 作 所 勝 田 工 場			关 西 鉄 鋼 短 期 大 学
德 植	一 郎	日 本 冶 金 工 業 (株) 川 崎 製 造 所			〃 〃
西 村	一 郎	〃 〃			〃 〃
片 山	一 郎	昭 和 電 工 (株) 富 山 工 場			〃 〃
迫 田	一 郎	〃 〃			〃 〃
田 草	一 郎	日 本 金 属 工 業 (株) 若 松 工 場			北 海 道 大 学 工 学 部
手 島	一 郎	〃 〃			〃 〃
		室 蘭 工 業 大 学			東 北 大 学 工 学 部
		三 菱 造 船 (株) 広 島 造 船 所			東 北 大 学 工 学 部
		新 関 東 築 炉 工 機 (株)			大 阪 府 立 大 学
		東 京 鉄 鋼 (株)			